2015年度ベルマーク運動説明会　体験発表を一部抄録

◆成田◆香取市立佐原小　合計終えたらマメに発送

蜷川広美さん、清水香也さん、佐藤英理子さん（右から）

佐原小学校は1961年にベルマーク運動に参加し、今年で55年目になります。PTA厚生委員会の活動の一つとして行っています。今年度は52名の委員で活動しています。

50人以上の委員が一度に集まるため、活動場所は学校の会議室を使い、各学年でテーブルを囲みながら作業します。

活動回数は年間7回です。最終の7回目は予備日としており、1～6回目の作業日に1回でもお休みしてしまった人に、この予備日に参加していただくようお願いしています。

前期の1回目に仕分け、2、3回目で集計、後期も同じような流れで作業を進めています。予備日では、集計の続きと次年度の準備を中心に作業していきます。

作業する曜日と時間は7回とも、第3または第4月曜日の、午後1時15分～2時45分としています。低学年の委員の皆さんがお子さんと一緒に下校できるよう、低学年の下校時刻に合わせているためです。

日程を記載した年間活動予定表を年度初めに印刷して配るので、例年、委員の約7割がすべての作業日に出席しています。

PTA厚生委員会の活動は、全7回という限られた回数と、片付けも含めて1回90分という短い時間内で作業を終わらせています。委員長と副委員長を除き、作業時間の延長や家での持ち帰り作業は一切お願いしていません。また、仕分け作業には、5、6年生のリサイクル委員会の児童たちにも参加してもらい、児童委員会の時間に作業を進めてくれています。

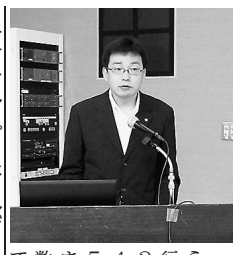
最終的な取りまとめ作業である「合計作業」では、集計作業が終わったものから、委員長と副委員長がまとめて、ベルマーク財団へ年5回ほどの発送を行っています。こまめな発送によって、合計作業の負担を減らすことができました。

佐原小学校では年間で約16万点のベルマークを収集しています。これまで54年間で集めたベルマークは約980万点になります。

ためたベルマーク預金で毎年、子どもたちの「教育環境の充実」に役立つ品を購入しています。これまでに購入した商品は、一輪車、卓球台、実物映写機、サッカーボールなどです。

また、2013年度は、ショウワノートのベルマークを年間1万2381枚集めたことによって、全国で第1位となりました。

◆名古屋①◆ユニーグループ　毎日の買い物　復興支援へ


ユニーグループ・ホールディングス株式会社グループ環境社会貢献部マネジャーの國枝丈哲さん

ユニーグループは、アピタ・ピアゴなどの総合小売業ユニーとサークルKサンクスのコンビニエンスストア事業を中心に構成されています。今回は、東日本大震災後ユニーでお客様、従業員と一緒に行ってきましたベルマークを通じた社会貢献活動をご紹介します。

震災から10カ月経過した2012年1月、「毎日のお買い物で支援活動」の名のもと、お客様と一緒にベルマーク活動を始めました。「子ども達に幸せな笑顔を贈る」と、子どもたちのための活動を主として行っていくことになりました。

2012年1月10日より2月10日まで、アピタ・ピアゴ・ユーホーム227店舗と本社及び地区事務所で、「ベルマークを集めて被災地の子ども達に、教材や文房具を贈ろう」とお客様や従業員に呼びかけ、サービスカウンターで回収を行いました。キリンビバレッジ様やユニーの労働組合も、回収箱の提供や集計作業に協力しました。その結果1カ月間で3225万2000点のベルマークが集まりました。

活動の流れを簡単にお話します。協賛会社（メーカー）でベルマーク商品が製造され、店舗で販売されます。お客様はベルマーク商品を購入し、ベルマークを切り取り、ユニーの店舗に持ち寄ります。ユニーではサービスカウンターの回収箱で回収し、本社で取りまとめた後、ベルマーク教育助成財団に寄贈しています。集められたベルマークは、財団・協賛会社・協力会社を通じて被災地の学校で、教材や文房具を購入するために使われています。この仕組みは小売業であるユニーがメーカーとお客様の橋渡し役となり、毎日のお買い物が社会貢献活動につながっていることに特徴があります。

お客様からは、「子どもが小学生の頃からベルマークを集めていたが、卒業してからは持っていくところがなかった。集めていたベルマークが役立てて嬉しい」といった声をいただきました。

ユニーの本業は小売業ですが、ベルマーク商品を販売することを通じても社会貢献をすることができるということを、多くの従業員が再認識することにつながりました。

その後も毎年1月から2月にかけて活動を行っています。2013年は50万点、2014年は73万点、2015年は57万点を回収しました。累計の寄贈点数は500万点を超えています。

◆神戸①・②◆神戸市立魚崎小　大規模校ならではの工夫

竹田奈穂さん、板橋展子さん（左から）

児童数1370名、神戸市一番の大規模校です。ベルマーク運動への参加は昭和43年からで、昨年6月に兵庫県内では2校目のベルマーク累計1000万点を突破しました。

昨年度の本校のベルマーク活動についてです。

ベルマーク委員会は43名のクラス委員とPTA本部の担当役員1名で構成されています。

6月からの作業に備え、5月末に第1回ベルマーク委員会を開催し、年間の活動予定や作業内容をマニュアルにそって説明します。2学期からは各学年が担当月を持ち作業を進めるため、学校の年間行事予定を参考に早めに作業日程を決定してもらい、仕事を持っている委員の方にも参加してもらいやすい工夫をしています。

毎月1日が「ベルマークの日」となっており、子どもたちが学校にベルマークを持ってきます。「ベルマーク収集袋」は入学時に配布し、6年間大切に使ってもらいます。

5月からベルマーク収集を始めるため、新1年生向けに4月末には「ベルマークだより」を発行し、ベルマーク収集のお願い、カット方法、注意点などをお知らせします。

ベルマークの回収・整理・集計の作業は6月～翌年2月の夏休みを除く8カ月間行います。

各月の作業は3回に分かれており、1学期は班長、副班長を中心にベルマーク委員全員で行い作業内容を覚えます。9月～2月の6カ月間は各学年が担当月を持ち、サポート学年の委員と共に作業を行います。

9月末と2月末の年2回、ベルマーク委員長、副委員長、本部担当役員の3名で点数の集計を行いベルマーク財団に発送しています。また各月の3回目の作業は一般のPTA会員にも手紙で告知し参加者を募っていて、毎回10名前後の保護者にお手伝いいただいています。

他の委員会に比べると毎月の自宅作業があり集まる回数も多いですが、机をかこんでいろいろな情報交換ができ、和気あいあいとした雰囲気の中で毎月の作業を行っています。

また校内にテトラパックとインクカートリッジの回収箱を設置しています。年3回発行するベルマークだよりや毎月1日の「ベルマークの日」を知らせる学校一斉メールで回収を呼びかけています。

地域の皆さまの熱い支援もあり、昨年度は17万2000点のベルマークを集めることができました。

ベルマーク活動はひとりでがんばってもできない

◆岡山◆岡山市立岡山中央小　「人気の事業部」で達成感

市田恭子さんと片桐玲子さん（左から）

私たち事業部は、ベルマーク、インクカートリッジ収集を中心に学校の体操服や算数セットのリユース活動も行っております。PTA役員は各クラスから募りますが、事業部は比較的人気がある専門部です。人気の理由は後ほどお知らせいたします。

昨年度は私たちを含め29名の部員で活動をしてまいりました。

中央小学校では毎月1回ベルマーク便りを発行しています。その月の回収日やベルマークの切り方、購入代金の10パーセントの行方などをお知らせしていました。このベルマーク便りは回収日の前の週に回収用の封筒とともに各クラスに配布していました。

ベルマーク回収は月に1回、連続した3日間で行っています。登校前の時間を利用して、ベルマーク番号ごとのBOXに入れます。事業部員が立ち会いますが、ほとんどの児童が自ら番号ごとに仕分けをしてくれます。

また事業部員の立ち会いですが、学年ごとにグループを組み、当番制にしました。そうすることで個人の負担を減らし、働いていて朝の立ち会いが難しい部員をサポートすることができました。

回収したベルマークは月1回の作業部会で切り取り、計算、集計します。

作業部会は平日の朝10時から夕方4時まで開き、たくさんの部員がそれぞれ都合のよい時間帯に来られるように工夫しました。

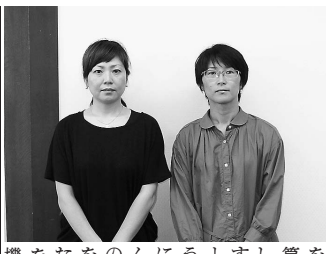
私たちを含め働いている部員もたくさんおります。その場合は自宅持ち帰り作業も可能としました。「出張の移動中の新幹線で数えてくる！」という頼もしい方もいました。

このように色々な方法で活動に参加できること、小さいお子さんも作業部会に連れてこられることが、代々伝達され、冒頭でふれました「人気の事業部」の理由のひとつとなっているのだと思います。

苦労したこと、工夫したこととしては、役員が毎年変わることから、ベルマークのまとめ方（10枚ごとにテープをとめる）が当初はうまく伝わらなかったことです。

楽しかったこと、嬉しかったことは、たくさん集まったベルマークをみんなで協力して仕分けをし、集計をして送った時の達成感を味わえたことや部会を開く度に学年の違う部員さんと話す機会ができたことです。ベルマーク活動は絶対ひとりでがんばってもできないということがすぐにわかりました。

◆高知◆高知市立大津小　マークと交換　人気の催し


森本香織さん、横田千里さん（左から）

私たちの所属する事業部は、ベルマーク集計とバザー運営を担当しております。

ベルマークの回収方法ですが、年度初めに、児童にベルマーク一覧表と一緒に、「ありがとう袋」と書かれた封筒を配布し、各家庭より毎月10日を目安に、ベルマークを入れて提出してもらい、JRC委員会の児童たちが各クラスへ行き、回収します。

他には、学校で参観日や行事があるたびに、収集のお願いのお手紙を配り、バザー用品や、テトラパック、インクカートリッジなどを、当日設置したダンボール箱に入れていただき、回収します。

学校のすぐ裏にある、ナンコクスーパーさんにも回収箱を置かせていただき、地域の方々からもご協力をいただいております。

もう一つの回収方法が、「エコふぇすた」というイベントで、私たち事業部が運営する、児童向けの「ベルマークでお買い物」というコーナーがあります。

年間を通して、バザー用品と並行して、各家庭より、いらなくなった、おもちゃや文房具、小物などを収集し、各商品をベルマークと交換で買い物する、というコーナーです。

例えば、鉛筆2本をベルマーク1枚、ぬいぐるみをベルマーク3枚、プラモデルをベルマーク5枚、など、小さめのものは1枚、比較的人気なものには3枚、これは早い者勝ち！と思われるものには5枚、と、対象枚数別に、コーナー分けをし、1人1回に付き10枚分まで！と、制限はしていますが、子どもたちは行列を作って、自分の欲しいものを探して、お買い物をしています。2学期に入ると、子どもたちはそこでたくさん買い物をするために、ベルマークをより一生懸命集めています。

ただ、ベルマークを毎月提出していると、お買い物する時に、あまり持っていない子どももいます。そこで、隣の教室で、「仕分けコーナー」を設置し、集まったベルマークを集めた後、どのような作業をしているのかを、知ってもらう良い機会となっています。

◆熊本◆あさぎり町立免田小　手ごたえあり　希望者多く

立山千佳さん、白木美佐さん（左から）

活動は、各クラスから選ばれた12人のベルマーク委員が担当しています。5月にきょうだいの上の子にベルマーク回収のお願いのプリントと、財団の「ベルマーク一覧表」「ベルマーク回収袋」を配布します。プリントには、ベルマーク運動の意義やマークの切り方、エプソンやキヤノンの使用済みのインクカートリッジが、ベルマーク点数になることなどをお知らせしています。

その際、前年度に集計ポイントを記載して、保護者への協力を積極的にお願いしています。回収袋は、毎月20日前後に子どもたちが学校に持ってきて、担任に渡します。先生方には、空き缶箱を利用した回収ボックスに集まったベルマークを入れてもらいます。回収袋には「ありがとうスタンプ」を押して返却します。

集まったベルマークは分けたあと、委員が家庭に持ち帰ります。各委員は、ホッチキスや小分け用袋、仕分け用袋、はさみなどがセットになった「ベルマーク作業グッズ」を使って、端をきれいに切り取り、協賛会社ごとに仕分けして、最大10枚を限度に同じ点数のものをホッチキスでとめていきます。

家で仕上げた分は、学校に戻します。「処理済み」と書かれた空き缶箱にどんどん入れていきます。そしてまた、未処理のベルマークを持ち帰っていきます。

私たち委員が学校に集まるのは、学期ごとに1回。6月と10月と2月です。それぞれ持ち寄ったベルマークを、整理ボックスで協賛会社ごとに分け、点数や枚数を確認します。

家庭である程度仕分けをしているので、全体作業は1時間程度で終わります。前半は、ここまでが主な作業です。2月は、集まったベルマークの集計です。

ベルマーク委員会は、学校のために子どもたちのためになっているとの確かな手ごたえを感じられるからか、委員希望者は毎年、たくさんいます。また、1年の労をねぎらって2月に開く「お疲れさん会」は、みんなの楽しみの一つになっています。

ベルマークの集まりが思わしくないときは、再度協力依頼のプリントで呼び掛けをします。

これまでに集めた点数で、児童にボールやドッジビーなどをプレゼント出来ました。また、東日本大震災の時は、その年に集まった5万点（5万円相当）は、財団を通じ、被災された学校に寄付させていただきました。

活動体験を発表した皆さん

中部

【新潟】新潟市立南中野山小学校
ＰＴＡ会長の清水義仁さんと副会長の渡辺愛子さん
【富山】南砺市立福野小学校
父母と教師の会　顧問・山口幸夫さん、会長・宮本進さん、顧問・大西大紀（ひろき）さん
【金沢】金沢市立三馬（みんま）小学校
育友会　岡明子さん、中仁谷（なかにや）のぞみさん、畠山（はたけやま）直美さん
【福井】福井市和田小学校
ＰＴＡベルマーク部の青木知佳さん、堀江美代子さん、黒梅博子さん、石川尚子さん
【甲府】富士吉田市立下吉田第二小学校　教頭・堀内一義さん
【松本】松本市立旭町小学校
ＰＴＡ2014年度文化環境委員長・澤木明美さん
【長野】長野市立芹田小学校　中山聡子先生
【岐阜】池田町立八幡（やわた）小学校
下野静弘教頭と昨年度ＰＴＡ役員のみなさん
【静岡】島田市　島田中央幼稚園
鈴木宏枝さん、ガリエゴス豊美さん、荒木和美さん
【浜松】浜松市立与進小学校
永吉研哉さん、伊藤美香さん、松島伸輔さん
【沼津】富士宮市立東小学校　野添訓子さん、渡辺望さん
【名古屋①】ユニーグループ・ホールディングス株式会社　グループ環境社会貢献部マネジャーの國枝丈哲（たけあき）さん
【名古屋②】津島市立神守（かもり）小学校
ＰＴＡベルマーク委員会の平松恵さん、寺本涼子さん、早川美妃さん
【豊橋】豊橋市　岩崎学園　副園長の安藤淳二さん
【岡崎】安城市立錦町（にしきまち）小学校
佐々木茜さん、前原淳子さん、浅井紀子さん
【津】津市立西が丘小学校
瀬田恵梨子さん、木下淳子さん、土肥由紀さん
【四日市】四日市市立常磐（ときわ）小学校
ＰＴＡのみなさん

近畿

【大津】大津市立堅田（かたた）小学校
前田素子さん、馬場貢仁子さん、後藤百合子さん
【京都】京都市立常磐野（ときわの）小学校
大槻洋子さんとＰＴＡ役員のみなさん
【大阪①】大阪市立長居小学校　吉田香津美さん
【大阪②】大阪市立東淡路小学校　ＰＴＡ会長の森岡孝博さん
【堺】堺市立登美丘西（とみおかにし）小学校
ＰＴＡ文化委員会のみなさん
【神戸①】神戸市立魚崎小学校　板橋展子さん、竹田奈穂さん
【神戸②】神戸市立魚崎小学校　竹田奈穂さん、板橋展子さん
【姫路】加古川市立鳩里（きゅうり）小学校
ＰＴＡ教育環境部部長の曽我部恵美さん、副部長の横治明子さん
【奈良】奈良市立青和（せいわ）小学校
鈴木真由美さん、上田純子さん、尾崎真奈美さん
【和歌山】和歌山市立宮小学校　浜野英樹さん

中国

【米子】米子市　認定こども園あけぼの幼稚園
小椋智子さん、藤原真智子さん
【松江】松江市立第四中学校
生徒会の早水涼さん、野中大聖さん、横川愛寿香さんと日野誠先生
【岡山】岡山市立岡山中央小学校
市田恭子さんと片桐玲子さん
【広島】広島市立川内（かわうち）小学校
ＰＴＡ学代部ベルマークリーダーのみなさん
【福山】尾道市立日比崎（ひびざき）小学校
松崎葉子さん、榊賀庸雄（かじかつねお）さん、松木恵さん
【下関】山陽小野田市立小野田小学校
地域協育ネット「はなまるクラブ」の地域コーディネーター竹田佳枝さん、山根正明校長
【山口】岩国市立東（ひがし）小学校
保坂正子さん、倉澤愛弓（あゆみ）さん、千葉ひろみさん

四国

【徳島】鳴門市第一小学校　ベルマーク委員の上福篤さん
【高松】高松市立川添（かわぞえ）小学校
寺尾千恵さん、白石裕美さん
【松山】新居浜市立角野（すみの）小学校
星加裕子さん、三苫くみこさん、山本茂美さん、藤田康代さん
【高知】高知市立大津小学校
森本香織さん、横田千里さん

九州・沖縄

【福岡①】福岡市立板付（いたづけ）小学校
川口淳子さん、内山愛さん
【福岡②】太宰府市立水城（みずき）小学校
高田亜矢さん、栗川三智恵さん
【北九州】北九州市立星ヶ丘小学校
小迫美香さん、石松亜希子さん、平山展子さん
【久留米】柳川市立蒲池（かまち）中学校
松尾泉さん、池上美智子さん、武藤みつ代さん
【佐賀】鳥栖市立弥生（やよい）が丘小学校
松田康子さん、谷川美和さん、岡亜紀さん、楠田幸江さん
草場幸絵さん
【長崎】長崎市の「ひかり幼稚園」
中原悠（はるか）さん、勢上みなみさん、卜部奏子（うらべかなこ）さん、楊井綾（やないあや）さん、松本美香さん
【佐世保】佐世保市立広田小学校　村橋知枝美さんと諸岡健明さん
【熊本】あさぎり町立免田小学校　立山千佳さん、白木美佐さん
【大分】杵築（きつき）市立杵築小学校
小松こずえさん、河野麻紀さん、清原康絵さん、河野はるみさん
【宮崎】宮崎市立潮見小学校
緒方マヤコさん、落合真美さん、山本里沙さん
【延岡】日向市立財光寺南（ざいこうじみなみ）小学校
水野佳織さん、稲田直美さん、都甲富美さん
【鹿児島】霧島市立日当山（ひなたやま）小学校
鶴水陽子さん、馬場七重さん、蛯原直子さん
【那覇】豊見城（とみぐすく）市立とよみ小学校
座安としえさん、渡真利涼子さん
【沖縄】沖縄市立美東（びとう）小学校
普久原清美さん、城間恵子さん、大城美奈子さん、屋良美香さん、當山彰子さん、外間早美さん